

生活環境

Q (沖田 ゆかり 議員) 道路に放置された犬のフン害対策を

A (町長) 飼い主に対する啓発看板の配布を行っている。

〔Q1〕 町内の路上に放置されている犬のフンに対する苦情を聞く。家の前に放置され長年悩んでいる方もおり、何か良い対策はないのか、現状と課題について、また今後の対策について伺う。

〔A1〕 犬のフンは飼い主の責任で持ち帰るよう、町広報や町ホームページでお願している。飼い主に対する啓発看板の配布を行っているが、成果にはつながっていない。今後も現状の取り組みを地道に続けていくほか、効果的な取り組みを見出せていない。

〔Q2〕 京都府宇治市で、駐車違反の取り締まりをヒントに、2016年から実施されている「イエローチョーク作



放置されたフンの周りを黄色いチョークで囲み、見つけた日時をその場所に書く。

戦〕を、熊野町でも検討していただきたいが。〔A2〕 「イエローチョーク作戦」は、放置されたフンの周りを黄色いチョークで囲み、見つけた日時をその場所に書くというもの。飼い主が再び訪れた際、自動的に回収することを目的とする取り組みで、比較的財政負担が少なく、一定の成果が期待されることから前向きに検討する。

安心安全

Q 土砂災害ハザードマップの有効活用を

A (町長) ピンポイントな自主防災組織の立ち上げ支援に努める。



藤本 哲智 議員

〔Q1〕 第四小学校区土砂災害ハザードマップの作成・配布の意図は。

〔A1〕 土砂災害防止法に沿って県が調査した結果に基づき、町民の安全・安心を守るために土砂災害警戒区域などを示したハザードマップを作成・配布した。

〔Q2〕 配布するだけでなくハザードマップに示された地区限定での防災訓練の実施を。

〔A2〕 地域においてピンポイントに避難訓練を行いたいということがあれば支援していきたい。

〔Q3〕 地域ごとの自主防災組織の組成に関して町の支援は。

〔A3〕 県に登録されたアドバイザーの派遣による会則作成支援や、活動に必要な資機材整備の支援を行う。

〔Q4〕 大規模災害を想定した綿密な防災シミュレーションはできているのか。

〔A4〕 個別のシミュレーションは現在できていない。発災時に機敏に動けるような訓練を考えていきたい。

〔Q5〕 町内にある空き家を緊急時の避難施設に登録はできないか。

〔A5〕 この件については、決して後ろ向きな話ではなく、問題点を整理して、十分に検討したい。

広島県町議会議員研修会

5月24日、議員の能力向上を目的として、広島県町議会議長会の主催で「広島県町議会議員研修会」が開催され、災害時の危機管理や、現在の日本の政治について、それぞれ講演をいただきました。

○「災害と自治体の危機管理」

講師：兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科長・教授 室崎 益輝 氏

阪神淡路大震災を実体験された経験をもとにご講演をいただき、「被災時の議員の役割」として、3つ紹介がありました。

- 1 被災者の中に入り要望を行政に伝える。
2 行政の情報を被災者に伝える。
3 議会は一体となり行政に政策を提言する。

※日頃の議員活動の姿勢と共通しており、我々には、日々の精進が求められています。



室崎 益輝 氏

○「どうなる日本の政治」

講師：政治評論家 森田 実 氏

戦後の復興期を実体験され、また、政治評論家としての経験をもとに、現在の日本の政治を担う官僚・政治家に憂いを示されました。

※地方議員への期待を込めた講演をいただき、国・県・町の補助金行政が常態化した今、議会（監視機関）の責任の重大さを痛感する研修となりました。



森田 実 氏

Q 公共下水道事業の現状とこれからは

A (町長) 普及率は90.5%。一般会計からの繰り入れにより経営している状況である。



竹爪 憲吾 議員

〔Q1〕 下水道の普及率、下水設備の故障件数、耐用年数はどうか。また、事業の運営が健全であるかを問う。

〔A1〕 普及率は90.5%。下水道施設の耐用年数は、汚水管路、マンホールは50年。機械、電気設備は15年。故障件数は、過去5年間平均で、年間46件。運営は、一般会計からの繰り入れ依存度が高いが、効率的な運営を図り経費節減に努める。

〔Q2〕 故障は、どのようなもので、その原因は。

〔A2〕 マンホールポンプの破損や摩耗による故障が多い。原因は、異物の混入や雨水等の不明水の流入である。

〔Q3〕 原因である異物とは具体的にどんなものか。

〔A3〕 約半数が、紙おむつ、紙パンツ、下着、布等の水に溶けないもの。

〔Q4〕 下水に流してはいけない物、また、流すところから駄目なのかを示した資料を作成して配布してはどうか。

〔A4〕 資料の内容や配布の方法を検討したい。

〔Q5〕 熊野団地の設備は耐用年数に近いが、管理はどうしているか。交換の予定は。

〔A5〕 管路の詳細調査による老朽度等の把握に基づき、管理や改築、更新を行っていく予定。